



婦負の野



〒300-0112
茨城県日立市西金保602番地
社会福祉法人めひの野園
TEL 030-436-0270
代表責任者 中田 佳
（本園長）
高岡市市川上町3の31
（株）杉浦 沢本美生

自閉症の方の住まいの場として、それぞれの特性に配慮した設計を金山設計士（写真後列左から2人目）にさせていただきました



趣味を楽しみ、自分らしく生活しています



利用者さんは食器を並べるなど、お手伝いもしっかりやっています

「つまま寮」の設計にあたって

このたび飛騨市に開所された「飛騨流葉牧場」、そして2017年に開設されたグループホーム「つまま寮」の設計に携わらせていただきました。

「つまま寮」は、呉羽山の西側丘陵の市道沿いに立地しています。隣接しているのは「めひの自閉症地域生活支援センター」です。

敷地は平坦に整備されていましたが、東側の道路からは1m以上の高低差がありました。その敷地周辺の高低差を活かし、周囲の建物との調和を図って設計し、木造切妻の形状にしました。

本建物は、入所者のご家族、施設管理者、設計者による共同作業でプランされました。入所者7人の部屋の配置や、床・壁などの仕上げ材、さらに入所者の日常の動向などの聞き取りを行い、その結果を平面計画に反映させています。ご家族の皆様、管理者の皆様のご協力があつて計画を遂行できたと思っています。本当にありがとうございます。

自閉症の方の住まいを設計するにあたっては、次のいくつかの特性に配慮しながら行いました。

○言葉について…声の大きさや、繰り返し言葉、言葉の理解

○対人関係について…一人でいる事や、会話の姿勢

○感覚の違いについて…時間の感覚、睡眠障害、衣服の調整

○興味・関心について…自由時間、楽しみ、運動、娯楽

○活動について…パニックや常同行動

最後に、住まいの場である「つまま寮」、働く場である「飛騨流葉牧場」共に、自閉症の方への支援がより良いものとなるよう、今後も利用していく中で工夫を重ねていってほしいと思います。

（株）鈴木二級建築士事務所 金山 泰夫

めひの野園の今日のニュースと明るい明日を紹介します!

あしたのめひの

第11回

生活環境委員会

～5S活動を定着させるために～



「5S活動は環境をきれいにするだけではなく、自閉症の方への支援の向上にもつながる」と語る寺岡委員長

めひの野園には、職員によって編成された11の委員会があり、それぞれの課題に取り組んでいます。今回は、5S活動を通して利用者さんが安心して生活し、働くことができる環境作りを行っている「生活環境委員会」の寺岡委員長に話を聞きました。

Q 5S活動を始めたきっかけは?

—園の基本方針に5S活動が掲げられたことがきっかけで取り組みました。当初は手探りの状態で5S活動を実践し、成功している企業・会社の取り組みを参考に勉強しました。5S活動とは、「整理」・「整頓」・「清掃」に取り組み、その結果「清潔」な環境を維持し、「躰」によって改善活動を向上させていく活動のことです、これらの頭文字を取って「5S活動」と呼ばれています。

Q 5S活動に取り組むメリットは?

—5S活動を職員に呼びかけ実践していくうちに、環境を整えていくことが利用者さんの過ごしやすさや作業のしやすさにもつながることに気付きました。5S活動は、自閉症の方への支援にとつて必要不可欠な活動と言えるのではないのでしょうか。

Q 具体的にはどのような活動をしていますか?

—3カ月に1度、委員が分担して全事



After



Before

5S活動の一例。体育館の倉庫を整理することで、きれいになっただけではなく、「どこに何があるか」が分かりやすくなりました。(写真右:5S活動前、写真左:5S活動後)

業所の見回りをを行い、担当職員に改善箇所を指摘しています。なるべく具体的に「どうすれば良くなるか」を示し、改善された後は、どのように良くなったかを確認しています。また、職員研修では、5S活動の意義を伝え、それぞれの事業所で取り組まれた活動による改善点を紹介し、5S活動への意識が向上するよう取り組んでいます。

Q 今後の課題や展望は?

—利用者さんが、混乱や不安がなく、安心して過ごすことができるようになるためにも、5S活動をこれまで以上に定着させていきたいと思っています。今の環境に満足することなく、更なるレベルアップを目指し、委員が中心となって積極的に働きかけ、改善していきたいです。

(広報委員会 柴田 香菜江)



こちらは「やねのうえのガチョウ」のラッピング用品棚。ラッピングに使う道具やラベル類が、使いやすく配置されています。

Q 5S活動を始めてから6年が経ちましたが、どのように変わりましたか?

—5S活動への意識が向上すると共に、「自閉症の方への支援」がさらに意識された環境に変わってきたと思います。5S活動が行き届いている事業所は、どの職員が利用しても分かりやすく、使いやすい状態になっています。これは利用者さんの作業のしやすさや、暮らしやすさにもつながるのではないのでしょうか。実際に「使いやすくなった!」、「分かりやすくなった!」という声も聞かれるようになりました。

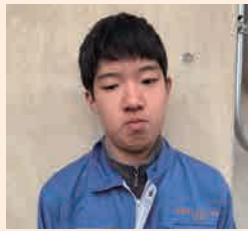
めひの野園

祝！ 成人

今年めひの野園では5人の利用者さんが成人されました。

新しい門出を迎えた皆さんの作業の内容を紹介するとともに、それぞれの保護者から届いたメッセージや、本人の抱負を紹介します。

作業センターふじなみ 下条 昌輝さん



ハウス部門で培地の搬入作業や、バック部門で椎茸のバック詰めを頑張っています。

これから仕事を引き続き頑張ります。休日にはいろいろなところに出かけてみたいです。

保護者の声

成人おめでとう。毎日お仕事を頑張っていますね。いつも家の手伝いもしてくれてありがと。これからも応援しています。

作業センターふじなみ 青島 由和さん



ハウス部門で培地の搬入作業や、培地の浸水作業を頑張っています。

保護者の声

成人おめでとう。由和の笑顔で周りが明るくなります。お手伝いも助かっています。食へすぎに注意してください。これからも明るく元気な由和でいてください。

作業センターふじなみ 松井 秀紀さん



仕込み部門で培地の積み下ろし作業や、ハウス部門での培地の搬入作業を頑張っています。

保護者の声

笑顔さわやか秀紀君、成人おめでとう。イケてる大人になりたいね。大好きな餃子や温泉のスタンプカードをいっぱいにしようね。

作業センターふじなみ 谷川 嘉啓さん



バック部門でシール貼り作業を頑張っています。

保護者の声

20歳を迎えて、これからは仕事に集中出来るようになってくれたらと思います。また、自分の楽しみを見つけてそれを励みに毎日頑張ってくれたらと思います。

20歳になって、仕事をもっと頑張りたいです。仕事をちゃんとして、休みの時は自分の好きなことを楽しみたいと思います。

飛驒流葉牧場

新田 舞奈さん



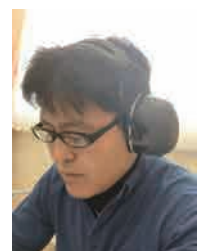
飛驒流葉牧場の洗い場を担当しています。まだまだひよっこですが、お仕事がんばります！

保護者の声

地域の方に支えられ成人式を迎えることができました。感謝の気持ちを忘れず、これからも一歩一歩やっていこうね。

群竹 muretake

めひの野園職員の
雑感コーナー



うさか寮施設長
東 真盛

僕にはのめり込んでいるというほどの趣味がない。なんにでも興味や関心は持つけど、これだけは負けないというものはない。唯一のめり込んでいると言えるとしたら「自閉症」なのかもしれない。早いものでこの業界に入って25年。初めて自閉症の子供たちと接したのが35年前。なんでこんなにのめり込んでいるのか考えてみた。

一つは自閉症の人たちが魅力的だから。自閉症やその家族を知れば知るほど感心させられ、関わり過程では心を揺り動かされる感動がある。そして学ぶことが多い。レスベクトすること、信じること、寛容であること、多様な価値観があることを教えてくれたのが自閉症の人たちである。

もう一つは、娘が小さい頃に言った「お父さん、私の子どもが自閉症だったらどうしよう。」という言葉。その時に「大丈夫！そのためにお父さんは仕事してるんだから安心していいよ。」と言ったことを今でも覚えている。その娘も子供を授かる年ごろになってきたが、地域はまだそんなに優しくない。誰であれ、これからの人が安心して「生」をつないでいける社会作り・地域作りをしていきたい。とは言っても大したことはできないとは思いますが、これまで出会った地域の仲間やスタッフと共に、目の前の人にならなければいけないこと、必要とされることを逃げずにしっかり取り組んでいきたい。それが何かの形になると信じている。

というわけで、もうしばらく自閉症支援にどっぷり浸かろうと思う。つまらない人生だなぁと思われるかもしれないけど、気にしない。これが僕の「生きがい」だから。



完成した記念品。「のし」と「商品説明書」は和紙班の牛乳パック再生利用手漉き和紙を使用しました。

私たちが作りました！

～心に残る記念品ができるまで～

3月1日（金）に、新しく開設された事業所「飛騨流葉牧場」の竣工・開所式が行われ、関係者の皆様に、記念品が配られました。その記念品は、園長の「形に残るものを」との思いから、みしまの工房で製作した手工芸品をセットにしたものです。

利用者さん、職員が心を込めて作った記念品をご紹介します。



原画を一枚ずつ布に写し取るのも一苦勞でした

イラストレーターとしても活躍している職員が飛騨流葉牧場のためにデザインしたもので、飛騨市の「白壁土蔵街」を背景に、「飛騨地鶏」「さるぼぼ」が描かれています。



慣れると手早くきれいに縫うことが出来ました



刺し子ふきん

手芸班では、飛騨市の様々な特産物をデザインした刺し子に挑戦しました。一枚の布に色々な絵柄が入っており、糸の色を変えたり、縫う順番を考えたりと工夫を凝らしました。普段は刺繍をしている利用者さん、職員に刺し子のやり方を習い、職員とともに1ヵ月間作業にかかりきりで70枚を仕上げました。

はたおり班では、紳士物商品に仕上げようと以前から織り進めていた布を使ってペンケースを作りました。高級感のある布にするために、普段使っている糸よりも更に細い糸を使い、きめ細かく織っています。糸が細い分、力加減が難しく苦勞しながらも根気よく織りました。

利用者さんが時間をかけて織り上げた布を、得意のミシン掛け作業で加工したのは、普段は別の事業所で働いている利用者のIさんです。70枚の布の端を根気強く縫ってくれ、製作に追われる職員の大きな助けとなりました。

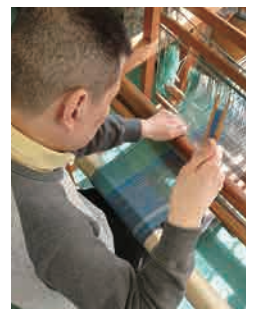
手織りペンケース



一つの工程を続けて縫うのが得意なIさん



一気にまとめて織るMさんも、ゆっくり丁寧に進めるTさんも「はたおり職人」として大活躍



柔らかくて手触りも良く、丈夫に仕上がっています。どなたにも愛用して頂けるように、落ち着いた色合いにしました。

やねのうえのガチョウ



12月8日(土)、クアトロブーム小杉とココス小杉店で忘年会を行いました。カラオケグループは思い思いの歌を、楽しく歌ったり聴いたりすることができました。ボウリンググループはナイスプレーにはハイタッチで応え、盛り上がりました。その後みんなで夕食を食べて日頃の苦労をねぎらいました。

クリスマス会 忘年会特集

昨年末に各事業所で行われた忘年会・クリスマス会の様子をご紹介します。なお、各事業所の忘年会・クリスマス会には、「NHK歳末たすけあい」による助成をいただいています。

春の苑



春の苑では、12月20日(木)にクリスマス会&忘年会を行いました。オードブルやケーキ、「やねのうえのガチョウ」のピザとサンドイッチをみんなで食べました。最後はサンタさんがプレゼントを持って登場し、楽しい時間を過ごしました。

ウォーム・ワークやぶなみ



12月13日(木)、ウォーム・ワークやぶなみ食堂でクリスマス会を行いました。クリスマスツリーや、栽培・堆肥部門で栽培されたシクラメンを飾り、華やかな雰囲気 of クリスマス会になりました。

美味しい料理を食べて楽しいひとときを過ごしました。

みしまの工房



みしまの工房では、12月18日(火)に呉羽ハイツでクリスマス会を行いました。ピザやハンバーグなど、みんなが大好きなメニューや、デザートケーキをいただきながらカラオケを楽しみ、大満足のひと時を過ごしました。

作業センターふじなみ



12月11日(火)、作業センターふじなみ食堂で忘年会を行いました。年に1度の忘年会を多くの利用者さんが楽しみにしています。寿司やオードブルなどを美味しそうに食べ、カラオケを楽しみ、「楽しかった」「ありがとう」と、たくさんの笑顔が見られました。

「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられています。

こんな支援が あったまる!

第10回「作業センターふじなみ パック部門」の取り組み

～利用者さんの作業を分かりやすくする支援～

めひの野園で取り組まれている「合理的配慮」による支援。「こんな支援があったのか」と思わず○をつけたくなるような心温まる支援を紹介します。

「作業センターふじなみ」は、菌床椎茸の一貫生産に取り組む、利用者さんに椎茸の栽培や出荷などの作業を提供しています。

収穫された椎茸をパック詰めして出荷している「パック部門」では、椎茸の選別やパック詰め、シール貼り等、様々な作業工程があるなかで、利用者さんが分かりやすく作業に取り組むことが出来るように支援に取り組んでいます。



パックセンターの中では、椎茸の選別やパック詰め、ラップ掛け、シール貼りといった作業が一連の流れの中でスムーズに行われています

支援の Point ここが○

毎日決まった仕事を提供出来ること、利用者さんの安心につながっている

作業センターふじなみで収穫される椎茸は、平均すると毎日200kg、多いときにはなんと400kgになります。これだけの椎茸が収穫され、出荷されるまでの最終工程が「パック部門」で行われているパック詰め作業です。毎日決まった仕事が提供されていることで、利用者さんには自分に取り組むべき何らかの作業があり、安心して作業場に通って来ることにつながっています。

支援の Point ここが○

「仕事の始まりと終わり」が分かりやすい

パックセンターでの仕事は、ハウスで収穫された椎茸がコンテナに入れられて運ばれて来てから始まります。運ばれてきた椎茸は、まず等級ごとに選別されます。「秀」「優」等級の品は100gのパックに詰められます。等級外に選別された椎茸も捨てられるわけではなく、お買い得な「500gパック」や、袋詰めにして出荷します。

椎茸のエアかけ、機械を使ったトレイのラップ掛け、シール貼り、サイズごとの仕分け。そして最後に段ボールに詰めて出荷するまでが一連の流れになっていて、全ての作業工程に利用者さんが携わっています。

さらに運ばれてきた椎茸のコンテナが全て空になったときに、その日の作業は終了となり、この時の充実感他では得難いものです。



パック詰めした椎茸を、サイズごとに仕分けしていきます。出荷まであと少し!

支援の Point ここが○

作業をより分かりやすくすることで、ストレングス(強み)を活かす

椎茸の選別作業は、デジタルの計りで重さを測り、サイズを記した見本を用いて行っています。トレーの下に見本を敷き、それに合わせて椎茸を並べていくことで、サイズや重さごとに選別してパック詰めが出来るのです。



正確な選別ができるように、椎茸の大きさや重さを示した見本を敷いて作業に取り組んでいます

この見本を使う前は、パック詰め作業が出来る利用者さんは限られていました。しかし、このようなジグ(作業を分かりやすくする道具)を使用することによって、「数字が読める」、「手先が器用」といった利用者さんの強みを活かし、作業につなげることが出来ました。

今ではパック詰めが出来る利用者さんが増え、毎日生き生きと作業に励んでいます。

しいたけくん

特別編

「福祉の魅力」……って？
の巻

福祉さんは、
どうして
福祉の仕事に
つこうと
思ったの？

福祉そう太
めひの野園職員

しいたけくん
実は主人公

しいたけちゃん

急に
どうしたんだい
しいたけちゃん

福祉系の大学に
行きたくて
勉強してるけど、

福祉の仕事の
魅力って
よくわかんなくなってきた……

そうだな、僕は
やっぱり、

社会や人の
役に立つ仕事が
したかったからかな。

障害のある人は、
「困った人」ではなく
「困っている人」なんだって
言われるよね。

目の前の
「困っている人」を
支えることで、
たくさんさんの幸せを
実感できるって
思ったんだ。

それに福祉の現場は
日々の支援だけじゃなく、
余暇支援やイベントが
色々あるよね。

相手の幸せを思い、
楽しみを共有できる
仕事でもあるんだよ。

福祉の仕事は
資格も多いからな。
キャリアアップと
言う意味でも
やりがいはい
多いぞムニャムニャ

お兄ちゃん
寝てないで
資格の勉強
しようよ!!

めひの野園は
「社会福祉法人」として、
福祉の魅力や
やりがいを
実感できる職場を
めざしています!!

勉強
がんばる!!
やる気も
出てきた!!

おー!!

富山県「北日本放送」社会福祉事業基金による物品贈呈

平成30年度富山県「北日本放送」社会福祉事業基金により、やねのうえのガチヨウに「電気フライヤー」が贈呈されました。

電気フライヤーをいただいで、揚げパンなどの新たな商品を提供することができるようになりました。ありがとうございました。



飛騨市の補助金による、飛騨流葉牧場の送迎車購入

飛騨市からの補助金をいただき、送迎車を購入しました。

このことにより、送迎サービスを実施させることができるようになりました。

ここに補助事業完了の報告を申し上げますとともに、感謝の意を表します。

記
一、総事業費 三、一三三、五七〇円
一、助成金額 一、五六一、〇〇〇円



ご寄付ありがとうございました。

(2019.1.7~2.6) 敬称略

藤森 紀子 高岡市
(有)タイセイツアーズ 富山市
麦谷 和夫 富山市
富山大学 富山市
石橋 孝史 富山市
佐藤理容院 富山市
山下 幸一 飛騨市

寄付金振込口座番号

北陸銀行五福支店 店番号 140
普通預金 4041542
社会福祉法人 めひの野園

来訪者

(2018.12.1~2019.2.20) 敬称略

森産業(株) 吉田 雅之
(株)中川医療器械 下野 元士
(株)竹虎 渋谷 信介
(福)万灯会 佐藤 久江・山田しのぶ
日比野 享・小酒井裕梨
近藤 史帆・小林 大介
(株)フードシステム 湯澤 茉保
(株)マイナビ 前田 逸平
東京海上日動火災保険(株) 稲山 稜平
テンブラス(株) 北谷 俊輔
日本テクノ(株) 森 智昭
富山県火災共済協同組合 長森 智昭
(株)リビック富山 砂田 太久哉
(株)トヤマデータセンター 浮田 雅夫
日本海建興(株) 灰谷 久登・松嶋 健二
早川 隆志・富崎 茂樹
(有)アイシテム 杉本 靖二
日本海建興(株) 近藤 秀樹
中央管機カクユー(株) 中田 陽子
富山市役所 中田 陽子
富山ゴム北陸販売(株) 前田 由己
北陸銀行 辰村 慎治
西金屋自治会 山崎 保雄
富山市役所 笹倉 宏一
高野 龍一・竹端 陽一
中村印刷工業(株) 中村 国雅
北陸電力(株) 上田 敏彦
古沢地区自治振興会 保城 敏彦
小片鉄工(株) 堀沢 幸作
(株)リペイル 堀沢 文雄
三協立山(株) 按田 貞義
大橋 伸一
関 貴之
高岡 康信
(財)北陸電気保安協会 保里 裕之
高志会館

編集後記

先日、テレビのワイドショーで放映されていた「子どもの将来になりたい職業ランキング」によると、1位：学者・研究者、2位：サッカー選手、3位：プログラマー、4位：野球選手、以下、医者、ユーチューバー……と続く。ちなみに20年前のランキングは、1位：公務員、2位：サッカー選手、3位：医者、以下、会社員、エンタ：であった。解説者によると、ここ数年の日本では、研究者や、スポーツ選手の活躍が目覚ましいことや、インターネット・SNSの普及といった世相が反映されているのではということだった。

我が福祉業界はというと、残念ながらランキングには入っていない。対象が子どもということもあるのだろうが、ここ最近で報道された福祉関係のニュースを鑑みると、この業界へのイメージが低下しているであろうことは想像に難くない。「大変」、「危険」といったマイナスのイメージを持つ方も少なくないのではないだろうか。このようなイメージをなるべく払拭し、もっと福祉の重要性や魅力について広めていけるような取り組みが必要ではないかと思っている。

今年度、本誌では「いたくくん特別編」として、当園の社会福祉法人としての取り組みをマンガで紹介させていただいた。今号では、前述したような思いもあつて、「福祉の魅力について」という内容にしてみた。今後も「福祉の魅力」を広められるよう取り組んでいきたいと思っている。

(岡崎 記)